



新年を迎えて

会長 齋藤勝則

令和2年、新年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

去年は、新元号、新

天皇の誕生など明るい話題で国民皆がお祝いしました。一方、自然災害の恐ろしさを目の当たりにした年でもありました。自然災害は今年も懸念されます。備えを進め、命を守る行動を心がけましょう。今年も、東京オリンピックが開催され、明るい大きな話題となります。海外からの注目の集まりです。直接的、間接的に関わりをもつて楽しみたいものを



東朋会懇親会にて

発行者 齋藤勝則
編集者 遠藤洋
関谷昌樹
水上薫

です。国内や国際的に注目を集める問題や課題・紛争など、少なからず私たちに影響を与えます。令和2年が平穏で安全・幸せな未来に繋がる年であることを祈ります。

今年、福東OB会は役員改選です。今後のあるべき姿をいろいろな場面で議論しながら進めて行きます。仲間の助け合いや振り所となる活動も継続していきます。ご意見・ご要望をお寄せください。皆さん、集いの会や会行事へのご参加をお待ちしています。

福島勤務時代の思い出

東朋会新理事長 久玉照美

10月の東朋会総会で香川氏から理事長を引き継ぎました久玉です。私は1980年代に小高工場、19

90年代に保原工場に勤務しました。福島には親しい仲間が居り、懐かしい所です。福東OB会には一般財団法人東朋会設立時から尽力戴き、今も地域OB会の雄です。これから新しい行事など提案し両会を発展させましょう。

小高時代の最大の思い出は会社の一泊バス旅行です。行く先は鶴岡市と出羽二山でしたが、まずホテルでの宴会は出し物が社員による生体模写など、ここまで楽しませるのかと思っ

た。小高社員の持つ即興ユーモア演技は相模では見られない楽しさでした。また鶴岡のお寺でのミイラは東北お坊さんの修行の厳しさを痛感しました。羽黒山の杉並木、人に話してはいけない湯殿山の湯渡りなど心に残る旅



久玉輝美 東朋会新理事長

行でした。保原時代の最大の思い出が人生初めての入院でした。毎日皆さんと夜遅くまで対策会議などに明け暮れたせいか、疲労がたまったらしく高熱でダウンし競馬場近くの福島日赤病院にお世話になりました。その節は保原工場の皆さんにご迷惑をかけたにも関わらず、福島の人情味あふれるやさしさ・暖かさを今でも思い出します。

新年にあたって

副会長 遠藤洋

新年明けまして、おめでとーございます。皆さんも、良いお年を迎えられた事と思います。去年は、元号が「平成」から「令和」へと変わり、それに伴い一年を通して、普段では見られないようないろいろな祝賀行事が行われました。一方では、

地球温暖化の影響の為に、いままで経験した事の無いような、地震、台風、大雨といった自然災害が、全国各地で



自宅前にて

起こった年でもありませんでした。

令和二年となる今年、秋には「東京オリンピック」が開催され、多くの外国の方々も来られます。自然災害も少なく、日本だけでなく、世界の人々にとつても、楽しい思い出がたくさん残る一年となればと、願っております。

福東OB会も、さらに仲間たちで、楽しく、気軽に集える場所となるよう努力したいと思っておりますので、皆さんの御協力を、よろしくお願い致します。

独断偏言

創刊以来「独断偏言」を担当されてきた「地底人言」様が薬石効なく、10月12日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りすると共に、地底人言様を偲んで、今までの独断偏言(標題)をご紹介します。

- ◎正義はどこへ ◎言うことを聞かないから殴った ◎美しい死
- ◎臓器移植に反対する ◎人を殺せば、死刑になつて当たり前じゃないの! ◎消費、賞味期限で必要なの?
- ◎「国民の健康を守る為、タバコを値上げします」 ◎「禁煙して健康を守ろう」は何処へ! ◎「老人の役割」
- ◎お悔やみ情報 ◎「戦争は無くなるか」
- ◎「禁煙」 ◎「無薬人」を指せ ◎地球を世界遺産に! ◎アマノジャク ◎初夢 ◎飛行機は墜落、船は沈む! ◎今年こそ ◎大丈夫! 問題ないよ ◎元日 ◎エネルギー枯渇 ◎地球の癌細胞 ◎葬式 不要論 ◎元日に遺言を書く ◎本当は危ない下り坂 ◎「死亡適齢期」 ◎復興アレコレ

訃報

・時政大典様(77歳) 前福東OB会会長 10月12日永眠 謹んでご冥福をお祈りいたします。